

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 藤森工業株式会社
 コード番号 7917 URL <http://www.zacros.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理部門管掌
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 布山 英士
 (氏名) 吉野 彰志郎

TEL 03-6381-4211

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	22,426	3.5	1,991	△7.9	2,075	△8.9	1,429	△1.1
26年3月期第1四半期	21,670	3.9	2,163	49.8	2,279	58.9	1,445	32.3

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 1,393百万円 (△22.5%) 26年3月期第1四半期 1,797百万円 (51.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	74.61	74.20
26年3月期第1四半期	75.45	75.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	79,916	46,006	56.6	2,359.00
26年3月期	77,080	45,464	57.8	2,325.68

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 45,204百万円 26年3月期 44,566百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	23.00	—	33.00	56.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	28.00	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 26年3月期の期末配当金33円は、創立100周年記念配当金10円を含んでおります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,200	3.2	3,850	3.5	3,950	2.1	2,550	4.8	133.07
通期	93,300	6.7	8,300	11.0	8,550	6.0	5,350	7.7	279.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	19,267,760 株	26年3月期	19,267,760 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	105,070 株	26年3月期	105,070 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	19,162,690 株	26年3月期1Q	19,162,784 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米国で民需や雇用が堅調に推移し、欧州景気も持ち直しが続くなど、先進国を中心に緩やかな回復基調が継続しました。国内経済においては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による一時的な落ち込みも想定範囲内に留まり、景気は緩やかな回復基調が続く展開となりました。

このような環境の下、情報電子事業は売上微減の展開となりましたが、ライフサイエンス事業の受注が堅調に推移したことに加え、建築資材事業で大きく受注を伸ばしたことにより、当社グループの売上は前年同期比で増加いたしました。

損益面では、グループ全体にわたり、高付加価値製品の販売強化と生産効率の向上に努めましたが、米国ヘドウィン社の事業譲受けなどスポット的な費用増加の影響もあり、前年同期比で減益となりました。

その結果、当第1四半期における業績は、売上高224億26百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益19億91百万円（前年同期比7.9%減）、経常利益20億75百万円（前年同期比8.9%減）、四半期純利益14億29百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ライフサイエンス事業)

食品用包装材で受注が伸び悩む展開となりました。生活用包装材の詰替用スタンディングパウチにおいては、タイの連結子会社において現地生産を本格化させたことにより、全体では売上は増加しました。さらに、医薬・医療用包装材においてジェネリック向けを中心に受注を拡大したことなどから、事業全体で前年同期を上回る売上を確保することができました。

この結果、売上高は103億65百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

(情報電子事業)

剥離フィルムについては、末端製品のモデルチェンジの商機を捉え、受注を確保したことから販売は増加しました。情報記録用材は、「パソコン」、「モバイル端末」向けは増加しましたが、それ以外の分野で受注減となったことから売上減少となりました。プロテクトフィルムについては、偏光板パネルサイズの拡大に加え、新興国の需要が旺盛だったことから主力の偏光板向けの受注は堅調に推移したものの、前年同期に大きく伸長した「モバイル端末」向けの工程用部材は、一部の受注が低調に推移したことから売上が減少する展開となりました。

この結果、売上高は92億25百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

(建築資材事業)

建材関連においては、住宅向けを中心に、空調用配管並びに集合住宅向けボイドスラブ（床構造部材）の売上が増加したことに加え、首都圏再開発物件等が好調に推移したことにより煙突工事の売上が前年を上回ることができました。また、土木関連においては、前年並に推移する展開となりました。

この結果、売上高は28億34百万円（前年同期比26.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、有価証券が減少したものの、現金及び預金、売上債権、棚卸資産、投資有価証券が増加したことなどにより、前年度末に対して28億35百万円増加の799億16百万円となりました。

負債につきましては、未払法人税等が減少したものの、仕入債務や未払金が増加したことなどにより、前年度末に対して22億93百万円増加の339億9百万円となりました。

純資産は少数株主持分6億61百万円を含めて460億6百万円となり、自己資本比率は56.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年5月9日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、平成26年5月14日付の「米国ヘドウィン社の事業譲受けに関するお知らせ」で公表しましたとおり、当社米国子会社であるZACROS AMERICA, Inc. が米国HEDWIN CORPORATIONから事業を譲受けましたが、当連結会計年度の連結業績に与える影響につきましては現在時点では限定的なレベルに留まるものと見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、非連結子会社であったZACROS AMERICA, Inc. は米国HEDWIN CORPORATIONから事業を譲受けたことにより重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間から連結の範囲に含めております。ただし、ZACROS AMERICA, Inc. の決算日は連結決算日と異なり、同社の第1四半期会計期間末日は3月末日のため、当第1四半期連結会計期間末日では、当該事業譲受けは四半期連結財務諸表に反映されておられません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が1億85百万円増加し、利益剰余金が1億19百万円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,975	9,442
受取手形及び売掛金	26,660	27,463
有価証券	2,599	1,599
商品及び製品	2,390	2,785
仕掛品	1,212	1,274
原材料及び貯蔵品	1,630	1,716
繰延税金資産	773	851
その他	812	892
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	44,050	46,022
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,238	31,241
減価償却累計額	△16,963	△17,234
建物及び構築物 (純額)	14,274	14,007
機械装置及び運搬具	44,304	44,022
減価償却累計額	△36,134	△36,351
機械装置及び運搬具 (純額)	8,170	7,671
工具、器具及び備品	4,685	4,742
減価償却累計額	△4,137	△4,187
工具、器具及び備品 (純額)	548	554
土地	5,391	5,387
建設仮勘定	323	1,432
その他	18	18
減価償却累計額	△13	△13
その他 (純額)	5	4
有形固定資産合計	28,713	29,058
無形固定資産		
その他	220	206
無形固定資産合計	220	206
投資その他の資産		
投資有価証券	3,018	3,546
繰延税金資産	461	476
その他	658	647
貸倒引当金	△43	△42
投資その他の資産合計	4,095	4,628
固定資産合計	33,029	33,893
資産合計	77,080	79,916

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,074	19,746
短期借入金	855	856
未払金	1,918	3,884
未払法人税等	1,846	800
賞与引当金	1,324	701
役員賞与引当金	106	30
その他	1,023	1,322
流動負債合計	25,149	27,341
固定負債		
長期借入金	1,359	1,288
繰延税金負債	538	537
退職給付に係る負債	3,278	3,500
役員退職慰労引当金	479	483
その他	810	757
固定負債合計	6,466	6,567
負債合計	31,616	33,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,600	6,600
資本剰余金	7,654	7,654
利益剰余金	29,380	30,064
自己株式	△109	△109
株主資本合計	43,525	44,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	803	892
為替換算調整勘定	353	212
退職給付に係る調整累計額	△116	△110
その他の包括利益累計額合計	1,040	994
新株予約権	130	140
少数株主持分	767	661
純資産合計	45,464	46,006
負債純資産合計	77,080	79,916

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	21,670	22,426
売上原価	16,785	17,437
売上総利益	4,885	4,989
販売費及び一般管理費	2,722	2,997
営業利益	2,163	1,991
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	42	71
受取保険金及び配当金	1	27
為替差益	32	-
その他	54	38
営業外収益合計	134	138
営業外費用		
支払利息	6	4
売上割引	7	8
為替差損	-	37
その他	4	3
営業外費用合計	18	54
経常利益	2,279	2,075
特別利益		
受取保険金	70	-
負ののれん発生益	-	88
特別利益合計	70	88
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	2,350	2,163
法人税、住民税及び事業税	968	792
法人税等調整額	△76	△81
法人税等合計	892	710
少数株主損益調整前四半期純利益	1,457	1,452
少数株主利益	11	23
四半期純利益	1,445	1,429

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,457	1,452
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41	89
為替換算調整勘定	298	△155
退職給付に係る調整額	—	6
その他の包括利益合計	340	△59
四半期包括利益	1,797	1,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,770	1,383
少数株主に係る四半期包括利益	27	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフ サイエンス	情報電子	建築資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,132	9,288	2,249	21,670	—	21,670
セグメント間の内部 売上高又は振替高	62	161	33	258	△258	—
計	10,195	9,449	2,283	21,928	△258	21,670
セグメント利益	530	1,572	60	2,163	—	2,163

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフ サイエンス	情報電子	建築資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,365	9,225	2,834	22,426	—	22,426
セグメント間の内部 売上高又は振替高	72	141	21	235	△235	—
計	10,438	9,367	2,856	22,661	△235	22,426
セグメント利益	636	1,278	76	1,991	—	1,991

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。